

●車いすバスケットボール体験教室● in 鶴岡市立櫛引中学校



令和5年11月28日（火）、鶴岡市立櫛引中学校において、全校生徒・全教員が参加して、令和5年度鶴岡地域人権啓発活動活性化事業（人権ユニバーサル事業）である車いすバスケットボール体験教室が行われました。

体験教室では、岩佐元監督と萩野選手兼アシスタントコーチの2名が来校し、初めに普通の車椅子と車椅子バスケットで使用する競技用車椅子の違いについて説明いただきました。競技用車椅子は、後ろに重心を置いても転びにくいように支えがあること、より早く移動できるようにタイヤが「ハの字」になっていること、また、車椅子バスケットのルールを教えてもらい、転倒した場合は自力で起き上がる必要があることを聞き、実際に萩野選手に転倒してもらい、自力で車椅子ごと起き上がっていただく様子などを拝見させていただきました。

その後、生徒全員が競技用車椅子に乗って体育館を一周し、リングに向けてシュートしてみましたが、上手に車椅子を動かして移動できる人もいれば、思うように車椅子が動かず同じ場所でクルクル回ってしまう人、ボールがリングまで全く届かなかったり、転がっているボールですら思いどおりに拾えないなど、車椅子バスケットならではの大変さを体験し、四苦八苦しながらも一生懸命な生徒達がとても印象的でした。

萩野選手は下半身がほぼ動かないとのことでしたが、1対5のミニゲームでは生徒チームを置き去りにする圧倒的なスピードと車椅子を自由自在に操る機敏さに驚かされ、先生チーム相手には車椅子ごとぶつかっていく強さを見せてもらい、生徒たちから大きな声援と拍手、歓声が起きていました。

今回の体験教室で、車椅子の大変さや選手の俊敏さを身をもって経験し、相手側の立場になる、相手の気持ちを考えることを身体で学んだ生徒たちが、これからの生活で、少しでもこの体験教室のことを思い出し、相手を思いやれる大人に成長してほしいと思います。